

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 2名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科 (本荘キャンパス)
3. 専門分野 以下①、②のいずれかに関する専門知識を有し、新しい研究と教育、地域貢献に意欲をもって取り組める方を求めます。
 - ①ナノテク・材料 (金属材料物性、複合材料・界面、構造材料、機能材料、材料加工、組織制御、薄膜・表面界面物性、結晶工学、光工学、光子科学等)
 - ②ものづくり技術 (材料力学、機械材料、加工学、生産工学、設計工学、機械要素、トライボロジー、流体工学、計測工学、電気電子材料工学、数理シミュレーション、計算科学等)
4. 担当授業科目 (学 部) 主に物理学実験、機械工学実習、機械工学実験の各1課題を分担、機械工学演習、キャップストーンプロジェクト (企業課題解決PBL 演習)、セミナー、卒業論文指導等の補助を担当
(大学院) 大学院講義、セミナー、修士論文・博士論文に関する研究補助
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または原則として採用日までに取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2027年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制 (本学給与規程による。)
(3)勤務 専門業務型裁量労働制 (みなし労働時間 1日8時間)
(4)契約期間 期間の定めなし
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書 (本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書 (本学所定の様式2*による。) 研究業績は、①学術論文 (査読付き)、②国際会議発表論文 (査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編 (URLの記載またはコピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動 (地域貢献を含む。) の概要 (1,000字程度)
(5)教育に対する抱負 (1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負 (1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
※ *印: 履歴書 (様式1) 及び研究業績書 (様式2) については、ホームページ (<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>) をご参照ください。
9. 応募締め切り 2026年10月22日 (木) 必着
10. 選考方法 提出書類審査、学部選考委員会による面接 (模擬授業を含む)
※面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先 (1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
郵送※1、電子メール応募※2、またはJREC-IN Portal Web 応募
※1 封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2 タイトルを「機械工学科教員応募書類在中」とし、必要書類を添付してください。
送信先: hon-saiyo-syoku@akita-pu.ac.jp
応募書類は返却しません。
(2)問い合わせ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 尾藤 輝夫
TEL: 0184-27-2161 (ダイヤルイン)、E-mail: teruo_bitoh@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

機械工学科では、下記に示す専門知識を有し、新しい研究と教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

[研究]

下記のいずれかの分野の専門知識を有する人材を求めます。

- ①ナノテク・材料（金属材料物性、複合材料・界面、構造材料、機能材料、材料加工、組織制御、薄膜・表面界面物性、結晶工学、光工学、光量子科学等）に関する専門知識。
- ②ものづくり技術（材料力学、機械材料、加工学、生産工学、設計工学、機械要素、トライボロジー、流体工学、計測工学、電気電子材料工学、数理シミュレーション、計算科学等）に関する専門知識。

[教育]

機械工学の学問体系を十分理解した上で実験、実習、演習において課題を指導できる活力あふれる教員を学科として必要としています。これらの専門知識や技術の定着を図るための実験・実習・演習科目において学生に近い目線で考え、教員としての立ち位置で指導できる助教を求めます。

[地域貢献]

少子高齢化の進む秋田県では、若者が安心して暮らし働くための産業の創出が必要であり、電動化事業や洋上風力発電設備の建設が行われています。これら秋田県の社会インフラや、持続可能な社会実現に資する輸送機械や発電設備の運転・保守・管理に必要な技術の開発が求められています。また、県内企業の製造現場の効率化やコスト削減を進めることが求められています。これらの地域に求められる研究開発、地域貢献に本学着任後に積極的に取り組める人材を求めます。

[その他]

当該研究分野に関する専門性のみならず、企業、他大学、自治体等の多様な組織と連携しながら研究プロジェクトを推進できるコミュニケーション能力と自己管理能力を重視します。また、同僚とも協調し、学部や学科の運営に携われる人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

令和8年度 機械工学科大講座グループ構成

基本方針: 機械工学科は、次世代の機械システム創造のために、機械・材料のデザイン、ものづくりプロセス、エネルギー関連技術に関する教育と研究を推進する。

システムデザイン工学講座

●マテリアルデザイン研究グループ

航空宇宙、自動車、エレクトロニクス、医療産業へ貢献する機能性材料をデザインする。結晶構造や原子配列を制御した金属材料や、表面・界面を最適化した複合材料を開発する。材料の機能性、特性、変形や欠陥を解明し、高性能で信頼性の高い材料を実現する。

●メカニカルデザイン研究グループ

動く機械システムを、力学解析や数値シミュレーションを駆使し、最適にデザインする。航空機や自動車が効率的に走行・飛行し、回転機械が適切に動力やエネルギーを生み出すシステム、振動を制御した信頼性の高いシステム等をデザインする。

スマートプロセス流体工学講座

●先端プロセス研究グループ

未来のものづくりを牽引するために、CAD/CAMを利用した5軸加工などの高度な3次元加工技術、高精度機械加工や半導体プロセスを用いたナノオーダー加工、そしてアディティブ・マニュファクチャリングによる形状・表面創製プロセスの高度化を実現する。

●プロセス・インフォマティクス研究グループ

ものづくり基盤技術の高度化のために、インフォマティクスを活用したデータ駆動型プロセス、光や音を利用したプロセスの計測・センシング、数値シミュレーションやAIといった技術を統合し、ものづくりプロセスの本質を明らかにする。

エネルギー環境工学講座

●応用材料工学研究グループ

持続可能な社会の実現に向け、エネルギーの生成・利用効率を高める機能性材料や、環境に配慮した複合材料、生体材料の研究開発を進める。さらに、材料の高度な接合・成形技術を確立し、多岐にわたる分野での実用化を目指す。

●エネルギー応用研究グループ

再生可能エネルギーを含む発電・利活用システムの高度化を通じて、未来社会に貢献する。低環境負荷を目指し、プラズマやレーザーといった高密度エネルギーの応用研究、熱や多様なエネルギーの効率的な活用、輸送、システムの安全性に関する研究を推進する。